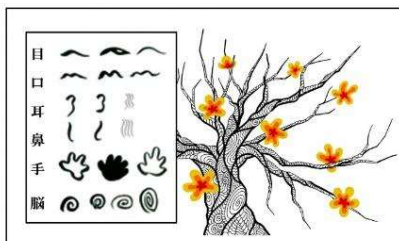


《大ホール緞帳》



緞帳デザイン内容



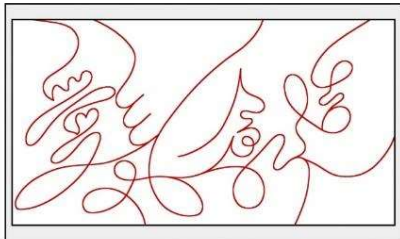
基本理念であるにぎわいの文化交流センターの中心にいるのは、市民です。

中心の核となる大木は、市民に決めました。

市民ひとりひとりの知恵や感性は異なりますが、集まれば計り知れない大きな力となります。

この木は、人それぞれが持つ五感(視覚、味覚、聴覚、嗅覚、触覚)をモチーフにデザインされています。

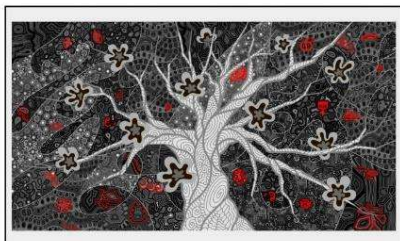
力強く、大きく開いた花は、考え描いたものを形にする手です。



次に核となる大木のまわりには、さりげなく二つのメッセージを忍ばせました。

一つ目は、愛・気・創造

メッセージは、
 ・ひとを愛し、まちを愛しましょう。
 ・思い合い、支え合い、喜びや感動を分け合ひましょう。
 ・ひとりひとりの素晴らしい感性を思う存分発揮し、新しい文化を創造して行きましよう、というメッセージです。



まわりに散りばめられた沢山のアイコンは、和歌山が誇るアイコン達です。

これらは、ただ単なる遊び心でデザインしたものではありません。それぞれのアイコン達には、色々な歴史やストーリーがあるからです。

このアイコン達を、過去から未来へ人から人へ語り継がれていってほしいという思いを込めてデザインしました。



そうして完成したのがこの緞帳になります。

力強く、楽しく、美しく

いつまでも市民に愛され、親しまれ、こころに残る緞帳を

緞帳の中心にある市民は、光輝く黄金色。
 その背景のミックスした色は美しい和歌山の海の色。